

平成20年度  
事務事業の点検及び評価報告書

平成21年9月  
恩納村教育委員会

## 1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の執行及び管理状況についての点検、評価を行い、その結果を報告書として作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことになりました。

そのため、恩納村教育委員会では、効果的かつ効率的な教育行政の推進に資するとともに、村民への説明責任を果たしていくために、同法第27条の規定に基づき、教育委員会の事務の点検及び評価を行い、その評価に際しては、教育に関する学識経験者で構成される外部評価委員会を設置し、その知見の活用も図りました。

この報告書は、今後毎年作成し、公表していくこととなりますが、教育委員会としては、報告書の内容充実に努め、村民にわかりやすい報告書にするために、必要な検討を加えていくこととしています。

また、点検評価の実施を通じて、教育施策の効果的な検証と改善を図りながら、本村教育行政の着実な推進につなげて行きたいと考えております。

## 2 教育委員会の活動状況について

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、首長から独立した行政委員会として各都道府県、市町村に設置されています。委員は5名で組織され、その合議の下に、学校その他教育機関の設置及びその管理や廃止に関することや教育財産の管理、学校の教育課程、学習指導、生徒指導等に関することなど教育行政の執行管理を行っています。

通常の業務については、委員の中から選任された教育長を通して、業務の執行管理を行います。教育行政の基本的な方針や委員会規則や規程の制定、学校や教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価などは教育長に委任することはできず、委員会自らが執行管理をすることになっています。

恩納村教育委員会では、毎月21日を定例教育委員会の開催日として会議を開催し、必要事項を審議し決定しています。また、各種の主催事業や村の各種行事、各種の研修会などにも積極的に参加しています。

平成20年度の教育委員会の委員の氏名及び開催状況並びに各種行事等への委員の参加状況は次のとおりです。

### ○ 委員の構成

役職	氏名	任期	教育委員としての経歴		備考
			当初就任	勤続年数	
委員長	島袋正重	平成17年5月1日～平成21年4月30日	平成13年	2期8年	委員長8年
委員	仲本政夫	平成18年4月1日～平成22年3月31日	平成14年	2期7年	
委員	渡口美智子	平成17年7月1日～平成21年6月30日	平成17年	1期3年	
委員	宜志富栄	平成19年4月1日～平成23年3月31日	平成19年	1期1年	
教育長	西銘宜寿	平成17年4月1日～平成21年3月31日	平成13年	2期8年	教育長7年

### ○ 平成20年度教育委員会活動の状況

## (1) 教育委員会の会議の開催状況

会議の名称	日 時	場 所	出席委員	案件等
4月定例会	4月21日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認 2. 教育長の業務報告 3. 恩納村立学校評議員委嘱の件 4. 恩納なび一舞台化検討委員会委員委嘱の件 5. 恩納村博物館運営協議会委員委嘱の件 6. 恩納村博物館非常勤館長の設置に関する規則の一部改正の件
5月臨時会	5月8日 午前11時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認 2. 恩納村教育委員会委員長の選挙の件 3. 恩納村教育委員会委員長職務代理者の件
5月定例会	5月19日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認 2. 教育長の業務報告 3. 恩納村博物館職員の復職辞令の件
6月定例会	6月20日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認 2. 教育長の業務報告 3. 恩納村結核対策委員会委員の委嘱の件 4. 恩納村史跡整備委員会委員の委嘱の件 5. 平成21年度に使用する小学校教科書の採択の件
7月定例会	7月22日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認 2. 教育長の業務報告 3. 平成20年度要保護及び準要保護児童生徒決定の件
8月定例会	8月21日 午前10時	役場1階会議室	4人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告
9月定例会	9月19日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告

				3. 恩納村立幼稚園保育料減免者の決定の件
10月定例会	10月21日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告 3. 心身障害児適正就学指導委員会委員委嘱の件
11月定例会	11月20日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告
12月定例会	12月19日 午前10時	役場1階会議室	4人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告
平成21年1月定例会	1月21日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告
2月定例会	2月20日 午後3時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告 3. 恩納村立幼稚園管理規則の一部を改正する規則の件 4. 恩納村立図書館計画推進委員会設置規程の件 5. 恩納村教育委員会社会教育課長の退職の同意の件
3月臨時会	3月2日 午後2時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告 3. 平成21年度公立学校管理職定期人事異動及び新規採用職員内示(案)承認の件
3月定例会	3月19日 午後2時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認の件 2. 教育長の業務報告 3. 平成21年度恩納村社会教育指導員の委嘱の件 4. 平成21年度恩納村公民館講座開設要項の一部改正の件 5. 平成21年度恩納村「カナダ・アメリカサマースクール」募集要項一部改正の件 6. 恩納村博物館長の任命の件

				7. 恩納村文化財保護審議会委員の委嘱の件 8. 国指定史跡「山田城跡」保存管理計画策定委員会委員の委嘱の件 9. 国指定史跡「山田城跡」保存管理計画策定委員会規程の承認の件 10. 恩納村各種協議等の県外派遣に関する補助金交付要項の一部改正の件 11. 恩納村体育指導員の委嘱の件 12. 平成21年度恩納村立各学校における学校医、学校歯科医及び学校薬剤師委嘱の件 13. 恩納村奨学金貸与施行規則の一部を改正する規則の件 14. 恩納村社会教育委員委嘱の件 15. 平成21年度教育委員会職員に係る人事異動内示（案）の承認の件
3月臨時会	3月27日 午前10時	役場1階会議室	5人	1. 前回議事録の承認 2. 教育長人事の件 3. 教育長候補者の選任の件

(2) 研修会、勉強会への参加状況

日 時	場 所	研修会等の名称	備 考
平成20年5月8日 ～9日	名護市民会館	第53回市町村教育委員会連合会定期総会及び研修会	5名参加
7月18日	那覇市民会館	平成20年度市町村教育委員会研修会	全委員
平成21年1月29日	県庁講堂	平成20年度教育委員・教育長研修会	全委員

(3) 主催行事や学校行事への参加状況

期 日	場 所	行事等の名称	備 考
平成20年4月1日	役場2階会議室・1階会議室	平成21年度職員辞令交付式	島袋委員長・教育長
4月2日	総合保健福祉センター	平成20年度教職員辞令交付式	全委員
4月7日	喜瀬武原小中学校体育館	小中学校入学式	西銘教育長

	恩納小中学校体育館	中学校入学式	島袋委員長
4月8日	仲泊小中学校体育館 安富祖小中学校体育館 恩納小中学校体育館 山田小中学校体育館	小中学校入学式 小中学校入学式 小学校入学式 小中学校入学式	渡口委員 宜志富委員 西銘教育長 仲本委員
4月9日	安富祖幼稚園 喜瀬武原幼稚園 恩納幼稚園 仲泊幼稚園 山田幼稚園	入園式 入園式 入園式 入園式 入園式	宜志富委員 西銘教育長 島袋委員長 渡口委員 仲本委員
5月24日	ゆうなホール	うんななびー「天の歌・愛の歌」舞台公演	
5月26日	喜瀬武原小中学校	学校訪問	8時から12時
5月28日	恩納小中学校	学校訪問	〃
5月30日	安富祖小中学校	学校訪問	〃
6月2日	山田小中学校	学校訪問	〃
6月4日	仲泊小中学校	学校訪問	
7月4日	山田小中学校	子ども安全見守り隊結成式	仲本委員
8月28日	ゆうなホール 山田小中学校	教育講演会 運動会	全委員 仲本委員・西銘教育長
9月30日	喜瀬武原小中学校	学校訪問	8時から12時
10月1日	恩納小中学校	学校訪問	〃
10月2日	山田小中学校 仲泊小中学校	学校訪問 学校訪問	8時から12時 14時から15時
10月4日	安富祖小中学校	運動会	宜志富委員・教育長
10月8日	恩納小中学校・福祉センター ゆうなホール	県学対訪問（午前中） 東邦音大コンサート	全委員 全委員
10月19日	仲泊小中学校	運動会	渡口委員・仲本委員・教育長
10月26日	喜瀬武原小中学校	運動会	宜志富委員・教育長
11月7日	中学生フォーラム	ゆうなホール	全委員
12月19日	1階会議室	村長との意見交換会	全委員
平成21年1月4日	コミュニティーセンター	平成20年度成人式	全委員

1月21日	ゆうなホール	村学対実践発表大会	全委員
2月4日	ゆうなホール	小中学校文化祭(9時45分) 文化講演会(19時30分)	全委員 "
2月20日	喜瀬武原小中学校 安富祖小中学校	学習発表会(9時30分~10時45分) 学力向上対策実践発表会(11時~)	宜志富委員・西銘教育長 宜志富委員・西銘教育長
3月3日	1階会議室	学力向上対策委員会	全委員
3月12日	山田小中学校体育館 恩納小中学校体育館	中学校卒業式 中学校卒業式	仲本委員 島袋委員長
3月13日	仲泊中学校体育館	中学校卒業式	渡口委員
3月15日	安富祖小中学校体育館 喜瀬武原小中学校体育館	中学校卒業式 小中学校卒業式	宜志富委員 西銘教育長
3月18日	安富祖幼稚園 喜瀬武原幼稚園 恩納幼稚園 仲泊幼稚園 山田幼稚園	卒園式 卒園式 卒園式 卒園式 卒園式	宜志富委員 西銘教育長 島袋委員長 渡口委員 仲本委員
3月19日	安富祖小中学校体育館 恩納小中学校体育館 仲泊小中学校体育館 山田小中学校体育館	小学校卒業式 小学校卒業式 小学校卒業式 小学校卒業式	宜志富委員 島袋委員長・西銘教育長 渡口委員 仲本委員
3月31日	2階会議室	退職辞令交付式	島袋委員長

(4)その他の活動

日時	場所	活動の内容	備考
平成20年9月27日	ゆうなホール	村政施行百周年記念式典・祝賀会	委員全員

(5) 課題等

委員会に対しては、住民に意向を教育行政に反映させるという本来の役割を担っていないなどの指摘もあり、今後は教育委員各自が教育委員の使命とその職務の重要性を認識するとともに、常日頃から各種事業に積極的に関与するほか、不定期の勉強会や研修会、意見交換会を独自に開催し、委員の更なる資質の向上に取り組み、なお一層のリーダーシップを発揮していく必要がある。

#### 4 事務の点検評価について

教育委員会の事務の点検及び評価の項目は、「恩納村の教育」に示された事業一覧の中から、主な事業を抜き出して行いました。

点検評価に際しては、各事業ごとに「当初目標」、「実施内容」、「取組み結果」、「課題」を評価シートに担当課がまとめ、点検評価に際しては、教育委員を交えて検討を行いました。その後、評価の客観性を確保する観点から、外部評価委員会に提出し、意見を聴取しました。

評価の方法については、事務事業を客観的に判断するため、次の4段階評価としました。

- A：目標が達成できた。
- B：目標が概ね達成できた。
- C：目標が一部しか達成できなかった。
- D：目標が達成できなかった。

以上によって評価された平成20年度の結果は次のとおりです。

#### 事務事業評価シート

主要施策	事業項目	事業の目標	り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
教育行政 の充実	教育委員会 研修事業	教育委員の資質 の向上	県及び中頭地区教育委員会連合会主催の研修会への参加。	委員全員研修に参加できた	内部研修会 や勉強会の開催	B	学校教育課
	事務職員研修事業	事務職員の資質向上	毎週水曜日の午前中に3時間程度安富祖校に集って給与、服務、文書の取り扱いなど共同実施を行った。また、臨時的任用職員配置校の支援のほか。実務研修や法令研修、パソコン慣習など各種研修を行なった。	事務を共同で行うことで事務処理の効率化が図られた。情報・知識・経験の共有により事務処理を円滑に行うことができた。また事務の効率化がされることによって教頭との連携が密になり、教育予算の執行や児童生徒に関する事務を連携して担えるようになった。	教育委員会との共同実施を行なうことができればでの活動内容の共通理解を深め、より一層充実した教育支援を行えるよう、連携体制を確立したい。	B	学校教育課

#### 4 事務の点検評価について

教育委員会の事務の点検及び評価の項目は、「恩納村の教育」に示された事業一覧の中から、主な事業を抜き出して行いました。

点検評価に際しては、各事業ごとに「当初目標」、「実施内容」、「取組み結果」、「課題」を評価シートに担当課がまとめ、点検評価に際しては、教育委員を交えて検討を行いました。その後、評価の客観性を確保する観点から、外部評価委員会に提出し、意見を聴取しました。

評価の方法については、事務事業を客観的に判断するため、次の4段階評価としました。

- A：目標が達成できた。
- B：目標が概ね達成できた。
- C：目標が一部しか達成できなかった。
- D：目標が達成できなかった。

以上によって評価された平成20年度の結果は次のとおりです。

#### 事務事業評価シート

主要施策	事業項目	事業の目標	り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
教育行政 の充実	教育委員会 研修事業	教育委員の資質の 向上	県及び中頭地区教育 委員会連合会主催の 研修会への参加。	委員全員研修に参加 できた	内部研修会や勉強会の 開催	B	学校教育課
	事務職員研 修事業	事務職員の資質向 上	毎週水曜日の午前中 に3時間程度安富祖 校に集って給与、服 務、文書の取り扱い など共同実施を行っ た。また、臨時的任 用職員配置校の支援 のほか。実務研修や 法令研修、パソコン 慣習など各種研修を 行なった。	事務を共同で行うこ とで事務処理の効率 化が図られた。情 報・知識・経験の・ 共有により事務処理 を円滑に行うことが できた。また事務の 効率化がされること によって教頭との連 携が密になり、教育 予算の執行や児童生 徒に関する事務を連 携して担えるよう になった。	教育委員会との共同実 施を行なうことができ ればでの活動内容の共 通理解を深め、より一層 充実した教育支援を行 えるよう、連携体制を確 立したい。	B	学校教育課

主要施策	事業項目	事業の目標	り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
教育振興事業	学校評議員設置事業	村民の意見を学校経営に取り入れることにより、地域に開かれた学校づくりに寄与する。	各学校5名以内の評議員を学校の推薦に基づき配置した。	校長と評議員が意見交換をすることにより、地域との交流など地域目線の学校経営に反映された。	各学校評議員会の開催日数や評議員の出席状況に差がある。	B	学校教育課
	校長会・校務研修事業	校長と教育委員会が教育に関する情報交換を密にすることにより、課題を的確に捉え、学校経営及び教育行政に反映させる。	毎月1回、各学校長及び教育長、学校教育課長、指導主事が参加して開催するとともに、視察研修で各校長を本土に派遣し、学校経営について研修させた。	学校現場と教育行政の関係者が各種情報を共有することによって、相互の連携が図られ、一体となった教育が行われた。	より効果的な活動を推進するため、教頭会を置き、必要な情報交換を行なう必要がある。また、視察研修も校長、教頭交互に派遣する必要がある。	B	学校教育課
	教育相談事業	各種の事情で不登校になっている子ども並びに保護者の相談に応じ、必要な支援を行い改善を図る	教育委員か射ないに設置された相談室に相談員を週三日配置し、来室相談、電話相談、学校訪問相談を実施した。	相談員が相談員とよりよい関係を築いたことで来室者が増え、不登校生徒への対応等で効果をあげることができた。	心の教室相談員との情報交換など学校との連携を更に綿密に行なうなどの工夫が必要	B	学校教育課
	学力向上対策事業	学力向上対策委員会を組織し、学校、地域、家庭が連携してそれぞれの役割を分担しながら知・徳・体の三拍子揃った子どもの育成を図る。	各部会ごとに事業計画を基に各種事業を展開した。	学校教育部会、検査庁舎評価部会は計画通りの事業展開ができたが家庭地域部会は子ども会中心の事業が主となり過程・地域が一体となった活動に課題が見られた。	より効果的な活動の推進を図るため、会則を見直すとともに家庭地域部会をより活動しやすい組織に見直す必要がある。	B	学校教育課

主要施策	事業項目	事業の目標	取り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
教育振興事業	知能検査 標準学力検査事業	児童生徒の学力の 定着状況の把握	4月の知能検査・標準 学力検査実施 1月の学習到達度検査 実施	児童生徒の実態を把握 し、指導方法や指導 内容の改善を行った	学習到達度検査を12月 に実施し、治療して学年 のたすきを渡す	B	学校教育課
	教育講演会 事業	村民の教育に関する 意識の高揚を図る	学力向上対策の一環 として講師を招き、 保護者、教師を対象 に知徳対の講話を実施	自分らしく生きること をテーマに阿部敏 郎氏を講師に招いて 講演会を実施し、参 加者からは好評であ ったが、参加者は見 込みより少なかった。	参加者を増やすことが 課題である。今後は村民 全体への周知徹底策及 び講演会の時間を検討 する必要がある。	B	学校教育課
	教育委員会 学校計画訪 問	村の教育施策との 整合性及び校務全 般の管理・運営状況 の確認	年2回の学校訪問実 施し、学校の説明、 要望を聴取するとと もに指導助言を行っ た	計画通り実施でき、 改善点を含め適正な 協議が行えた。	学校の改善状況の把握 (校務研等の連携)	B	学校教育課
	恩納村テス ト事業	村内児童生徒の国 語や算数(数学)の 学習状況を把握す る	委員会で問題を作成 し、村内の小4年及 び中2年を対象に実 施した	予定通り実施し、対 象児童生徒の状況を 把握できた	問題の作成方針・内容 について現場の教師との 確認が必要	B	学校教育課
	石狩市中学 生交流事業	交流体験を通じた 知識・能力の向上 人間性豊かな	・施設等見学 ・交流学习 ・体験学習 ・民泊体験	村内中学生1・2年 生24名が参加し、石 狩市と歴史、文化、 人的な交流を行った	寒さを軽視し、薄着で体 調を壊し、他に迷惑をか ける場面があったので 指導を徹底する。	B	学校教育課

主要施策	事業項目	事業の目標	取り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
教育振興事業	石狩市中学生交流事業	交流体験を通じた知識・能力の向上 人間性豊かな人材の育成を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設等見学</li> <li>・交流学习</li> <li>・体験学習</li> <li>・民泊体験</li> </ul>	村内中学生1・2年生24名が参加し、石狩市と歴史、文化、人的な交流を行った	寒さを軽視し、薄着をしたことで体調を壊し、他に迷惑をかける場面があったので事前指導を徹底する必要がある。	B	学校教育課
	村制100周年記念中学生フォーラム事業	生徒会の主体的な運営で、生徒会に係る課題等を協議することにより生徒会活動の活性化と発表力、表現力、協調性を育成する。	100周年記念事業ということで村内全中学生参加の下に各学校の生徒会活動の取組みを発表するとともに、その課題について討議、情報交換を行なった。	村内全中学生参加によるフォーラムは初めてということもあり、進行に不慣れなところも見られたが、フロアも含めて活発な議論が繰り広げられフォーラムの意義の理解と発表力に育成に効果があった。	統一課題を一つ設定し、各学校のアプローチの仕方を紹介する方法を検討する。また、進行に際し議論を高めるため、フロアの意見をもっと積極的に取り上げるなど運営方法について指導が必要。	B	学校教育課
	村制100周年記念小中学校文化祭事業	文化活動の高揚に資するとともに児童生徒相互の理解・交流を深める	村制100周年記念の単年度事業として全児童生徒参加の下に実施。小学校は童話・お話の発表並びに書く学校の発表。中学校は代表の意見発表、作文発表のほか桂才賀氏による講演会を行った。	小中学校とも村内の児童生徒が一堂に会する機会は少ないので各学校の発表に聞き入っていた。会場内も整然として聞く態度に好感が持てた。桂才賀氏の講演会は叱られる側の中学生向けと叱られる側の一般向けの2回に分けて実施したがそれぞれに好評だった。	今回は単年度事業で実施した。年に一度このような事業を開催することも各学校の間の連携を図る上から有意義だと思われるが、予算の確保と学校の日程の確保が厳しい。今後検討していく必要がある。	B	学校教育課

主要施策	事業項目	事業の目標	取り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
教育振興事業	奨学資金貸与事業 生徒指導対策事業	経済的な理由により、学資の援助を必要とする者に対して学資の一部を貸与し有用な人材を養成する。	本村に住所を有する者及び村民の子弟を対象に、県外大学等（年額 42 万円）月額 県内大学等（年額 30 万円）を貸与する。	県内 17 名県外 16 名 合計 33 名に対し 1182 万円を貸与した。	長期的に返還が滞っている人がおり、今後の貸与資金の確保の観点からも回収の促進が急務となっている。	B	学校教育課
	職場体験学習事業	村内 5 校の中学 2 年生を対象に正しい職業観を身につけさせることをねらいとする	希望する村内外の事業所に 5 日間派遣して職務の内容を体験させた。	34 の事業所に 157 名の生徒が参加し、職場の現実を認識させることができた。	派遣先で、マナー、態度の面で指導を受ける生徒がいて、事前の指導や講習会を強化する必要がある。	B	学校教育課
	インターネット学習環境支援事業	児童生徒のインターネットを使った調べ学習等を支援し、インターネット活用能力の向上を図る。	校内 LAN を整備しいつでも、どの普通教室でもインターネットに接続できる環境を提供した。	日常的にインターネットを活用できる環境を整備したことで、調べ学習や進学志望校のホームページを検索するなど、活用能力の向上が図られた。	インターネット活用能力がどの程度についているか検証する取り組みが必要。	B	学校教育課
幼稚園教育の充実	教職員研修の充実	幼稚園教諭の資質向上	教育課程研修、県幼稚園会研修、村内研修会などへ参加した。	実践的指導力などの資質の向上が図られた。	幼児と直接関る教師の資質の向上は最重要課題である。目的を明確にした県外視察研修への派遣及び教諭の派遣時間の確保を検討していく必要がある。	B	学校教育課

主要施策	事業項目	事業の目標	取り組み内容	取組み結果	今後の課題	評価	担当課
幼稚園教育に充実	絵本等の整備の充実	絵本に親しむ幼児の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園児用図書を増冊</li> <li>・絵本貸し出しの実施</li> <li>・親子読み聞かせの推進</li> </ul>	新刊図書を充実させたことにより、親子の読書意欲の向上が図られた。	継続的な図書購入のための予算の確保	B	学校教育課
	管理備品・保育振興備品の充実	保育環境の充実	運動遊具、保育振興備品の購入及びその安全点検、修繕の実施	園内外の保育環境の整備が図られた。	遊具の安全点検の実施及びその活用方法の研究	B	学校教育課
	自然環境・人材を活用した保育活動の充	具体的・直接的な体験活動の実施	文化施設、職場見学や多様な人材を活用した保育を推進した。	夢や希望を育むとともにコミュニケーション能力の育成が図られた。	多様な経験を有する人材を活用するため、各種団体との連携	B	学校教育課
学校教育の充実	教育振興備品の充実	教材備品の活用により生きる力を育む効果的な学習を実施する。	小学校 971 千円 中学校 601 千円の教材備品を購入した。	教材備品の活用により生きる力を育む効果的な学習が図られた。	教師によって必要・不必要となる備品があり、計画的かつ効果的な購入について学校の意識啓発を行う必要がある。	B	学校教育課
	扶助事業の充実	一定の条件を満たした家庭の児童生徒に対し、学資を援助して経済的に恵まれない児童生徒の教育を支援する。	提出された申請書を審査要領に基づき審査し、条件を満たしている家庭に補助金を交付	補助金を交付したことにより、経済力に左右されることのない、平等な学校教育の推進に寄与できた。	援助を必要としている児童の保護者が申請しているかどうか、また補助金が学資に活用されているのかについての検証が必要。	B	学校教育課